

こうとうくきょういくいいんかいしゅうぞうしりょう
江東区教育委員会 収蔵資料

とうようじんじょうしょうがっこう しゅうごうしゃしん み
東陽尋常小学校の集合写真から見る

かんとうだいしんさい ひなんじょ
関東大震災の避難所

こんかい しょうかい たいしょう どう あいだ さつえい ふかがわくにしひらいちょう
今回ご紹介するのは、大正13年5月から同14年3月の間に撮影された、東陽尋常小学校(深川区西平井町

19. 現在の江東区東陽3-17・21地先(永代通りの場所)のクラスの集合写真です。

はいご へい りょうわき か ご かくにん ひなんしゃ
背後の塀の両脇には書き込みを確認することができます。右には「九月一日／東陽小学校内避難者」、左に
は「東陽学校内□避」と見えます。その下にはそれぞれ氏名および住所が書かれ、氏名の下には「一同無事」
もしくは「五人無事」と書かれています。避難者の住所を見ると1名のみ「越中島町」で、他は「西平井町」と見
えることから、同校には主に近隣の住民が避難していたことがわかります。

ほんしりょう じつたい くいき いちじれい たいへんきちょう
本資料は実態がよく分かっていない、関東大震災における江東区域での避難の一事例として、大変貴重なも
のと言えます。



東陽尋常小学校前集合写真

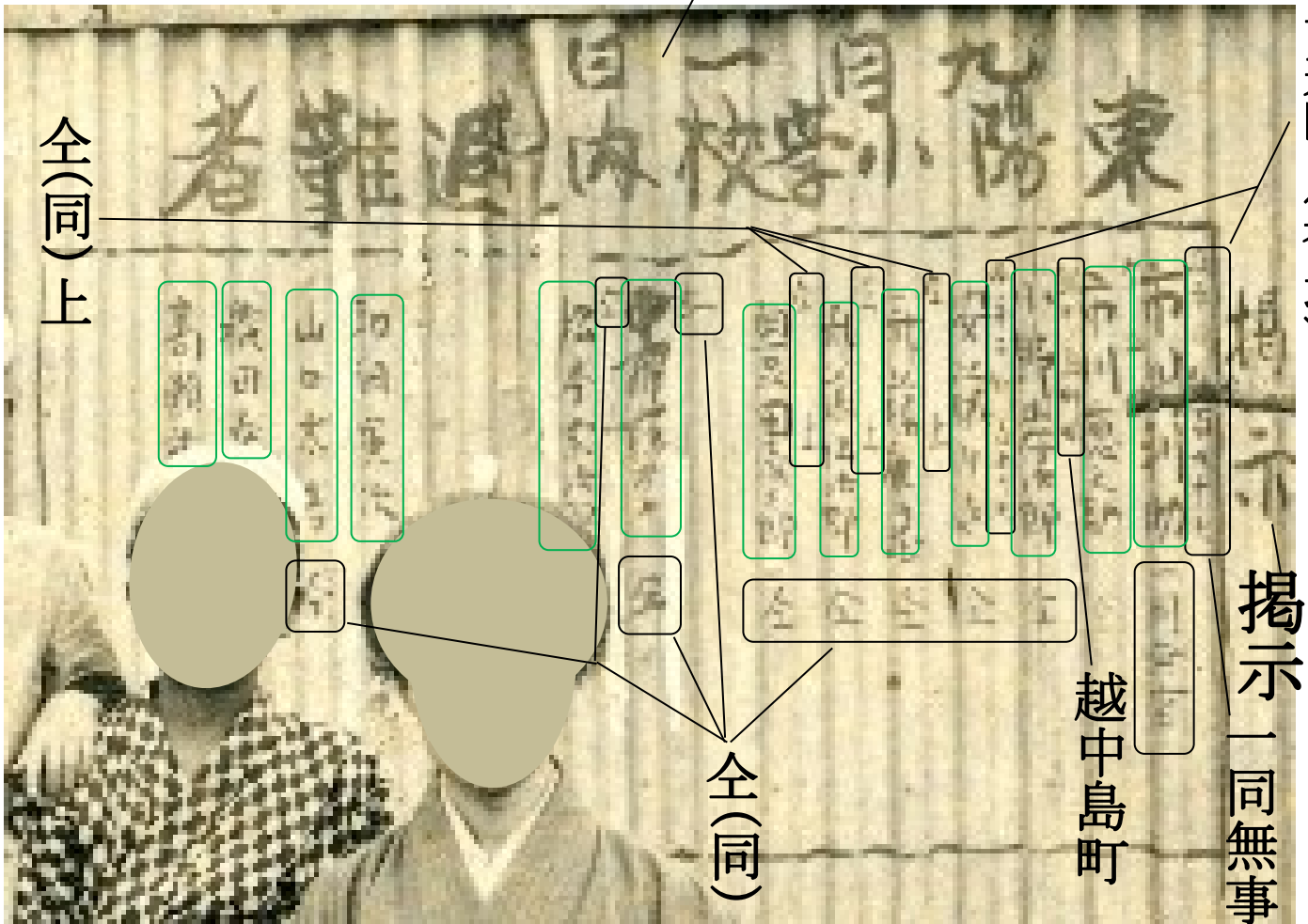
撮影者：窪添晴之(京都市西陣郵便局前)

撮影年代：大正13年5月～同14年3月

日一月九

者難避内校学小陽東

西平井町
(番地)

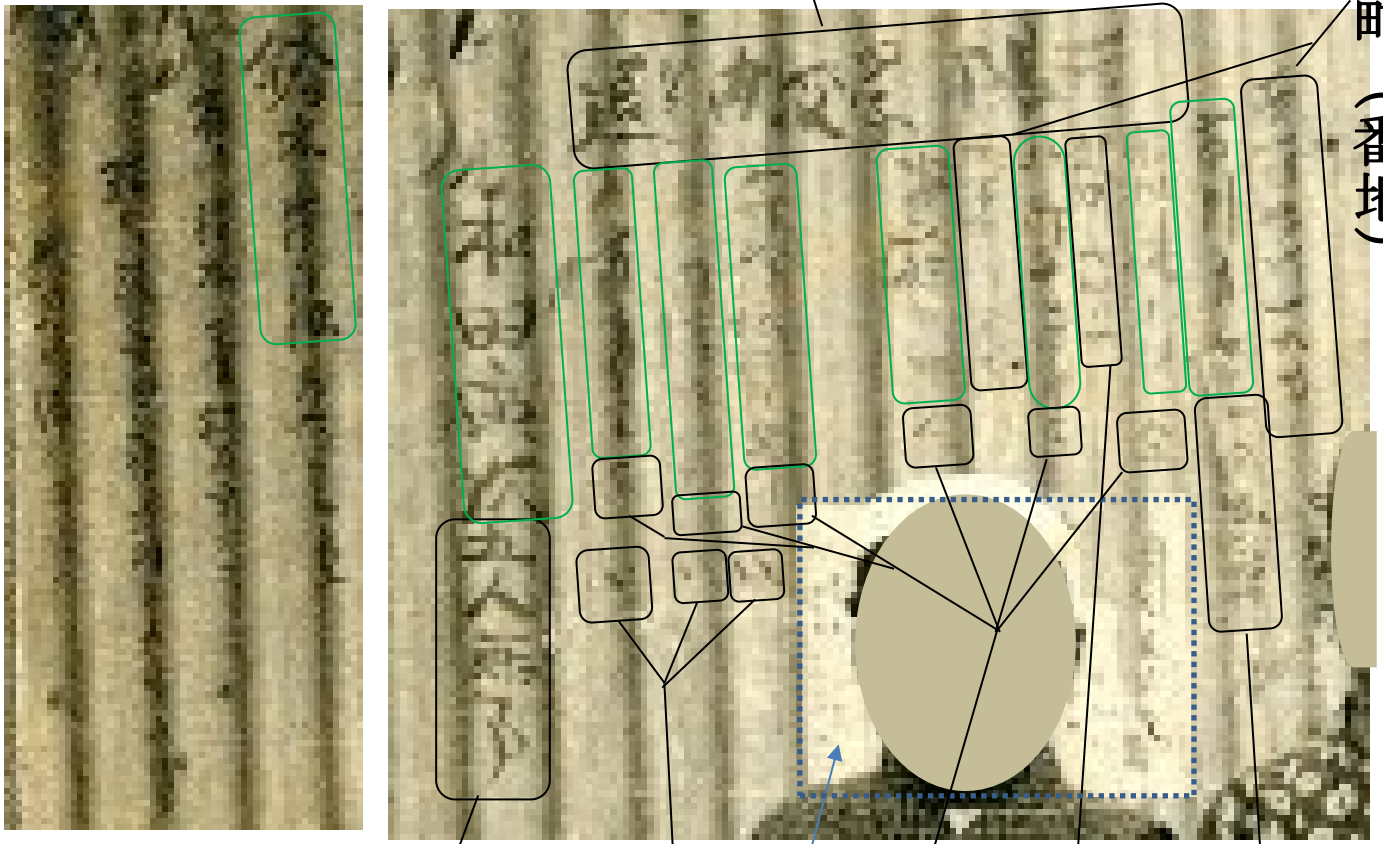


塀(右側)の書き込み

※緑の枠は避難者名

東陽學校内口避

西平井町
(番地)



五人無事

〃

全(同)

不明(住所か?)

一同無事

貼紙

(内容不明)

塀 (左側) の書き込み

※緑の枠は避難者名

とうようしょうがっこう えんかく
東陽小学校の沿革

明治 33 年（1900） 6 月 18 日

深川区西平井町 19 番地（現江東区東陽 3-17
・ 21 地先の永代通りの場所）に東京市東陽
尋常小学校が創立 ※同年 7 月 20 日に開校式

大正 12 年（1923） 9 月 1 日

関東大震災により校舎が焼失

大正 13 年（1924） 5 月 5 日

同地に仮校舎が竣工

大正 15 年（1925） 11 月 20 日

東平井町 1 番地（現東陽 3-27-12）に鉄筋
コンクリート造 3 階建の校舎が完成

昭和 16 年（1941） 4 月 1 日

東陽国民学校に改称

昭和 20 年（1945） 3 月 10 日

東京大空襲により校舎全焼

昭和 22 年（1947） 4 月 10 日

江東区立東陽小学校に改称

昭和 46～47 年（1971～72）

現校舎完成

参考：「東京市東陽尋常小学校沿革概要」 ※発行年不明
『江東区学校教育史』江東区教育委員会 平成 17 年